

# 新型コロナウイルス対策 これまでとこれから

国際医療福祉大学医学部公衆衛生学  
和田耕治



toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/

東洋経済  
TOYOKEIZAI  
ONLINE

## 新型コロナウイルス 国内感染の状況

日本国内において現在確定している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況を厚生労働省の報道発表資料からビジュアル化した。

制作：荻原 和樹（東洋経済オンライン編集部）

最終更新：2020年7月29日

ENGLISH

# 東京都の検査陽性者数

累計 16,252 名  
前日比 +188

8月11日時点

新規

累計



# 東京都の実効再生産数

0.95

8月11日時点

前日比 -0.04



実行再生産数：1を超えた状態であれば感染は拡大していき、数値が大きいほど拡大の規模は大きくなる。この値が1未満の状態であれば感染は収束していき、数値が低いほど収束する。

## 直近の感染状況の評価等

- 都市部を中心に接待を伴う飲食店や友人・知人との会食・飲み会を介した感染拡大が続いており、地方でも感染拡大が生じている。
- 現在の感染状況に関しては、都市部を中心に地域で感染が増加しているが、そのスピードは3、4月の増加のスピードよりもやや緩慢である。また、一部地域では、感染拡大のスピードが増しており、憂慮すべき状況である。
- これまでクラスター感染が発生した場所に関しては、接待を伴う飲食店、居酒屋など、主に3密や大声を発するような状況が多かった。このため、感染拡大防止に向けては、3密や大声を上げる環境の回避、接待・会食での感染防止、換気の徹底など基本的な感染対策を行うことが強く求められる。
- 現在のところ、基本的な感染対策が行われていれば、近隣のスーパーでの買い物や出勤の公共交通機関、オフィスなどで感染が拡大する状況ではないと考えられる。その一方、感染経路不明の感染者も増加している。
- 最近では、家庭内や医療機関、高齢者施設等における感染も確認されてきている。これまで、若年層を中心とした、感染拡大がみられたため、3、4月と比較すると、感染者数の増加に対して、入院や重症化する者の割合が低かった。しかし、都市部を中心に、感染者の増加が続くことにより、中高年層への拡大が徐々に見られており、重症者も徐々に増加している。
- このように、新規感染者の継続した発生や増加により、保健所や医療機関の対応には既に悪影響が生じており、公衆衛生体制及び医療提供体制の負荷の軽減を図るため、新規感染者数を減少させるための迅速な対応が求められる状況となっている。
- 引き続き、感染状況の監視・評価を継続し、宿泊療養施設の確保をはじめ、医療提供体制の状況を常に点検する必要がある。

今、お伝え  
したいこと



1. 徹底的な3密をなくす  
取り組みを



2. 具合の悪い人が安心して  
休めるように



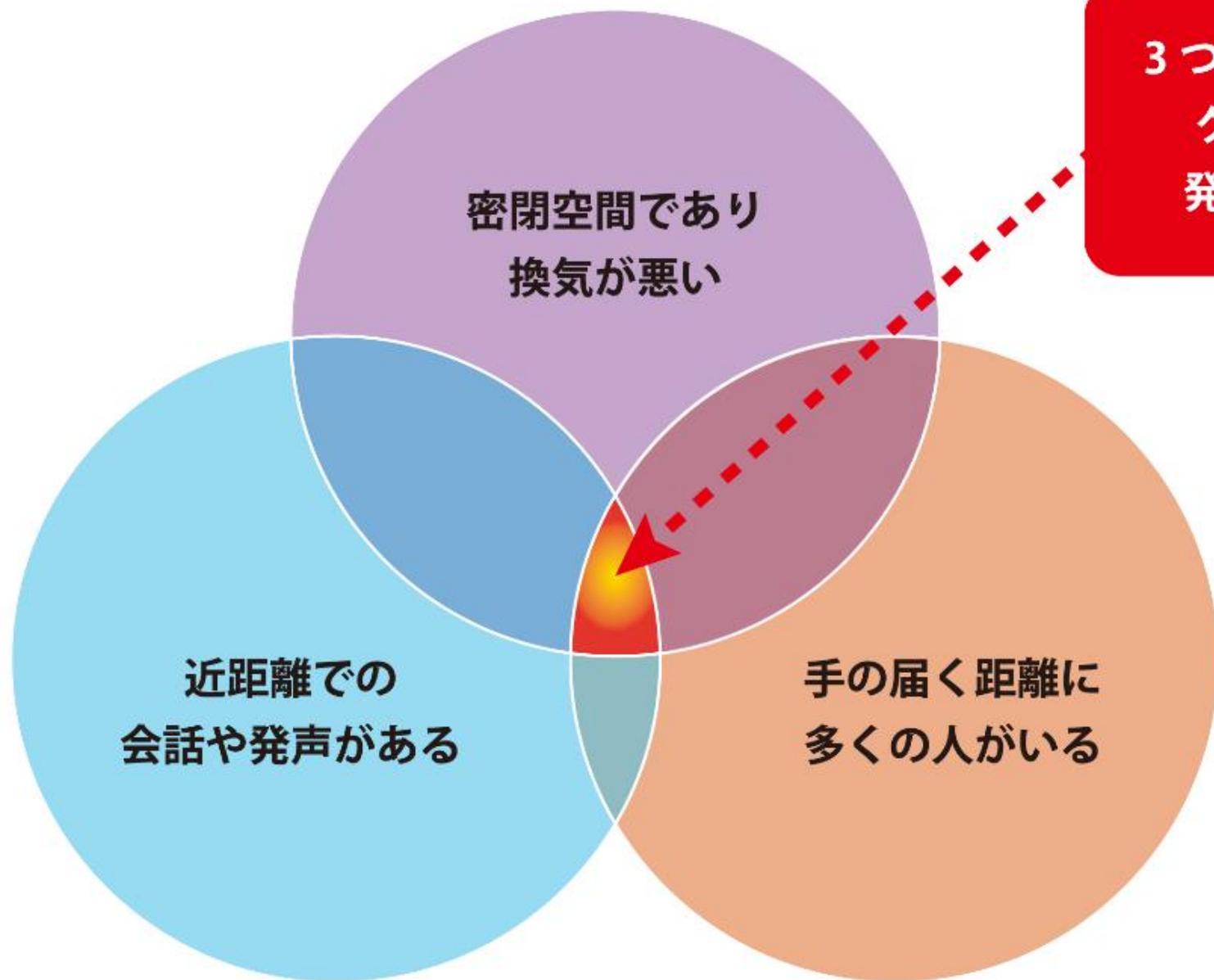
3. PCR等の検査については、  
よく考えながら



4. この状態は2年ぐらい  
続いたならと想定を



5. 今、社会はどうコロナと  
向かい合うといいのか？



3つの条件が揃う場所が  
クラスター（集団）  
発生のリスクが高い

# 3密から「3密プラス $\alpha$ へ」

①換気の悪い  
密閉空間



②多数が集まる  
密集場所



③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



+  $\alpha$  (呼吸が増す場所 (運動などで)、飲酒をする場所など)

# 新型コロナウイルス感染症はこうした経路で広がっています

たたき台

飛沫

接触

密閉  
密集  
密接

ウイルスが手指を通じて  
鼻や口から入る

#ドアノブ #タッチパネル

会話や咳により、  
ウイルスを含む飛沫や粒子を  
吸い込む

#接待を伴う飲食店  
#宴会・飲み会 #大声 #歌  
#劇場 #更衣室 #会議室

マイクロ飛沫

換気の悪い密閉空間では、5 $\mu$ m未満の粒子がしばらくの間、  
空気中を漂い、少し離れた距離にまで感染が広がる可能性も

※いわゆる「空気感染」は、結核菌や麻疹ウイルスで認められており、  
より小さな飛沫が、例えば空調などを通じて空気中を長時間漂い、  
長い距離でも感染が起こりえるもの。

※「マイクロ飛沫感染」とは異なる概念であることに留意が必要。



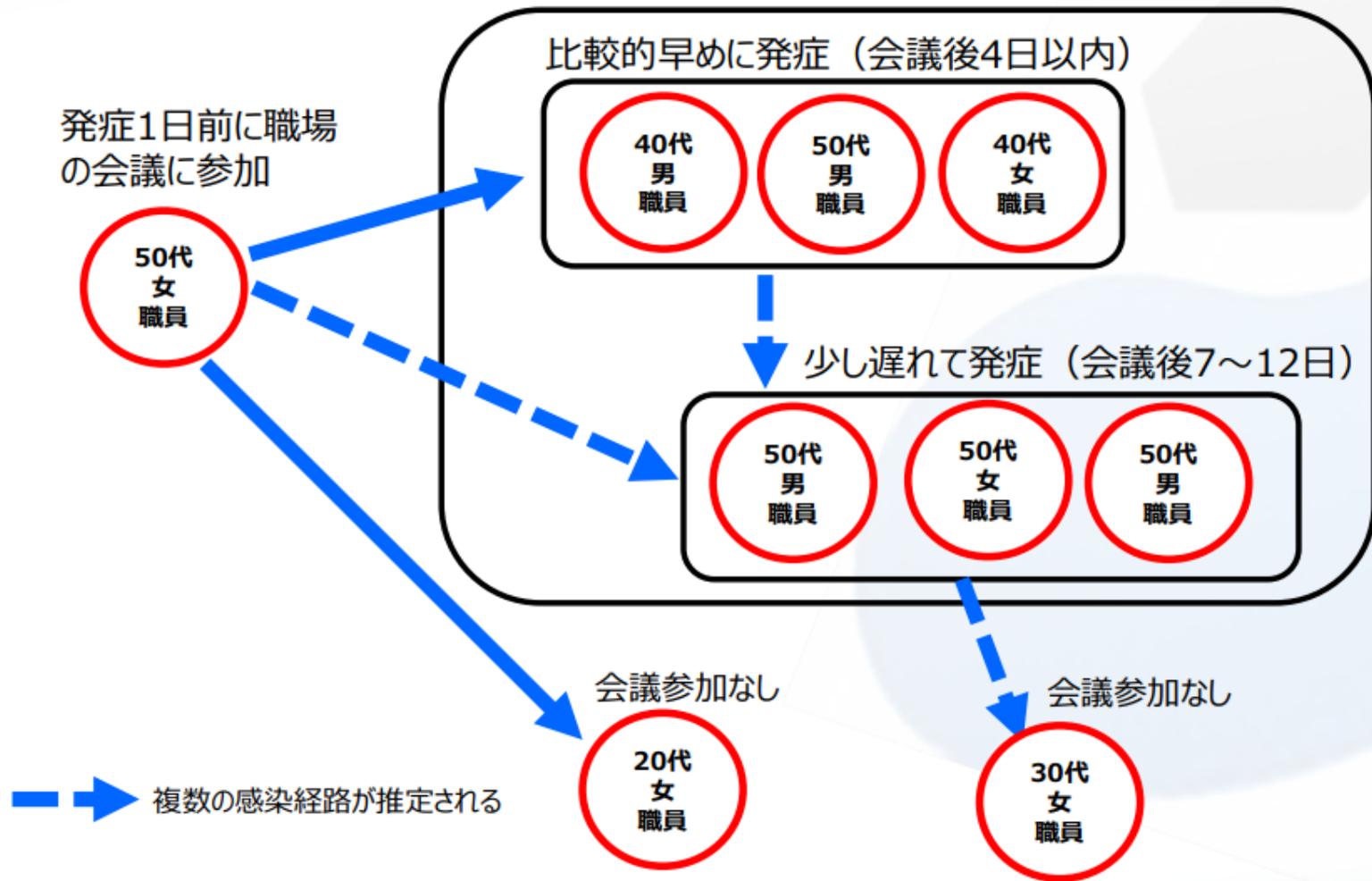
3つの密を避けましょう！ ①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面



手洗い・手指消毒、マスクの着用、2m(最低1m)の身体的距離が大事！適度な換気も重要です！

# 職場会議クラスター

年代  
性別  
職業



## 分かったこと

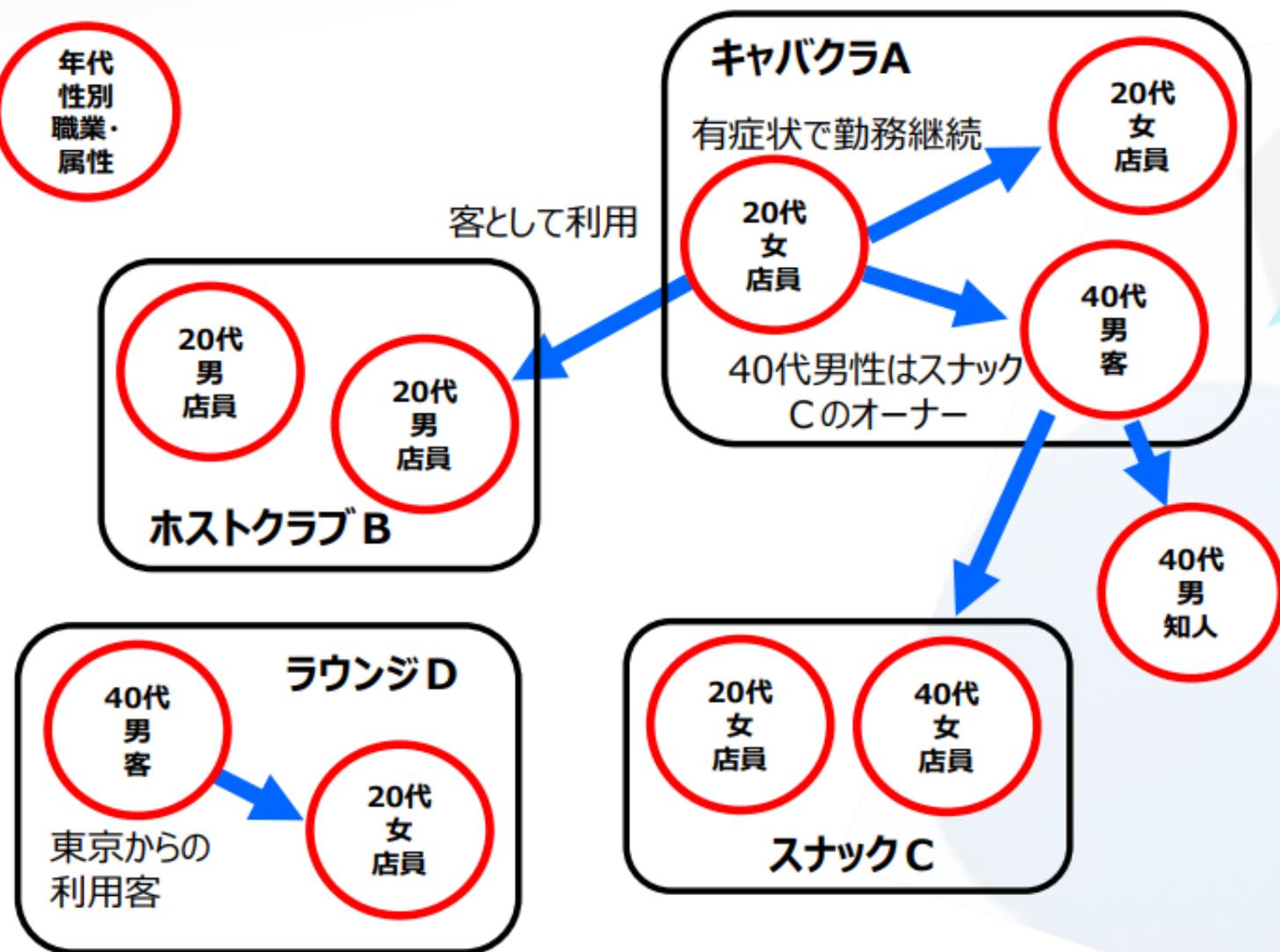
・職場の会議は、締め切った空間で一同に会してプレゼンや議論をし、3密（密閉、密集、密接）となることが多い

Web会議等が勧められるが、対面の会議を開催する場合は、

- ・換気の徹底
- ・十分に間隔をとる
- ・マスクを着用に十分留意してください

# 接待を伴う飲食店クラスター

年代  
性別  
職業・  
属性



## 分かったこと

- ・ 流行地域から来た利用客から店員へ感染
- ・ 接客時に3密（密閉・密集・密接）となり、店員から利用客へ感染
- ・ 有症状の店員が勤務を継続して店舗利用者と店員に感染が拡大



- ・ 症状があるときは店舗の利用を控えて下さい
- ・ 店員は3密を極力減らす工夫や検温などの健康管理を行い、感染症の早期発見・早期対応を心掛けて下さい

今、お伝え  
したいこと



1. 徹底的な3密をなくす  
取り組みを



2. 具合の悪い人が安心して  
休めるように



3. PCR等の検査については、  
よく考えながら



4. この状態は2年ぐらい続  
いたならと想定を



5. 今、社会はどうコロナと  
向かい合うといいのか？

# 米国における患者の症状の特徴

	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69
発熱、咳、呼吸苦 いずれか	59.8	68.1	70.1	72.4	73.2	72.3
発熱	35.0	39.6	43.2	45.3	46.2	45.2
咳	41.4	51.1	52.2	54.3	54.7	52.0
呼吸苦	16.3	26.5	28.1	30.3	30.4	30.7
筋肉痛	29.5	41.1	44.1	44.8	40.8	33.3
鼻水	8.1	8.9	7.3	6.6	5.9	5.1
咽頭痛	28.6	28.2	24.8	23.1	19.9	15.7
頭痛	41.9	46.1	43.6	41.9	37.2	28.2
下痢	13.5	19.2	21.3	22.3	22.2	19.8
嗅覚・味覚障害	9.9	13.3	11.5	10.2	8.3	5.6

## 症状について最近の 注意点

- 発熱がないから安心という雰囲気があり、ガイドラインから37.5度以上という表現を消す方向
- 総合的に体調不良を考える
- 典型的には、発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、下痢。味覚嗅覚障害は非常に特徴的な症状と現在は認識されている。
- 体調不良があったら、受診するように御願います。
- 受診しない場合には、症状がまったくなくなって48時間（または72時間）を確認して出勤させる。
- 不定愁訴の人をどうするか。。

# 一般企業でのガイドラインの留意点

1. 今一度、どこが感染リスク、感染拡大リスクが高いかを見直す
2. 対策で以下は特に強調する
  - ・発熱している、または24から48時間以内に発熱している、喉が痛い、咳がでる、下痢しているのような症状のある労働者が出勤しないこと!
  - ・人が集まる機会は減らす
  - ・感染拡大がみられる際には3密はプライベートでも避ける
3. 感染者がでた場合の対応を決める

# ある40代男性の方の感染がわかるまで (公開情報より)

- 7月25日 都内の接待を伴う飲食店を2カ所利用
- 26日 都内で過ごした後、〇〇市の自宅に帰宅。
- 27日～28日 市内の職場に出勤。
- 28日 出勤後、〇〇市内の医療機関を受診。 (発症)
- 29日 〇〇市内に短時間の外出。  
咳、倦怠感、発熱(37°C台)あり。
- 30日 市内の医療機関を受診し、健康福祉センターに相談。  
帰国者・接触者外来を案内し、受診。検体採取。
- 31日 PCR検査の結果、陽性であることが判明。

# ある30代女性の方の感染がわかるまで (公開情報より)

7月27日(月) 自宅

28日(火) 出勤 学校行事

29日(水) 発熱(38.1°C)、頭痛出現 医療機関Aを受診

30日(木)～31日(金) 出勤

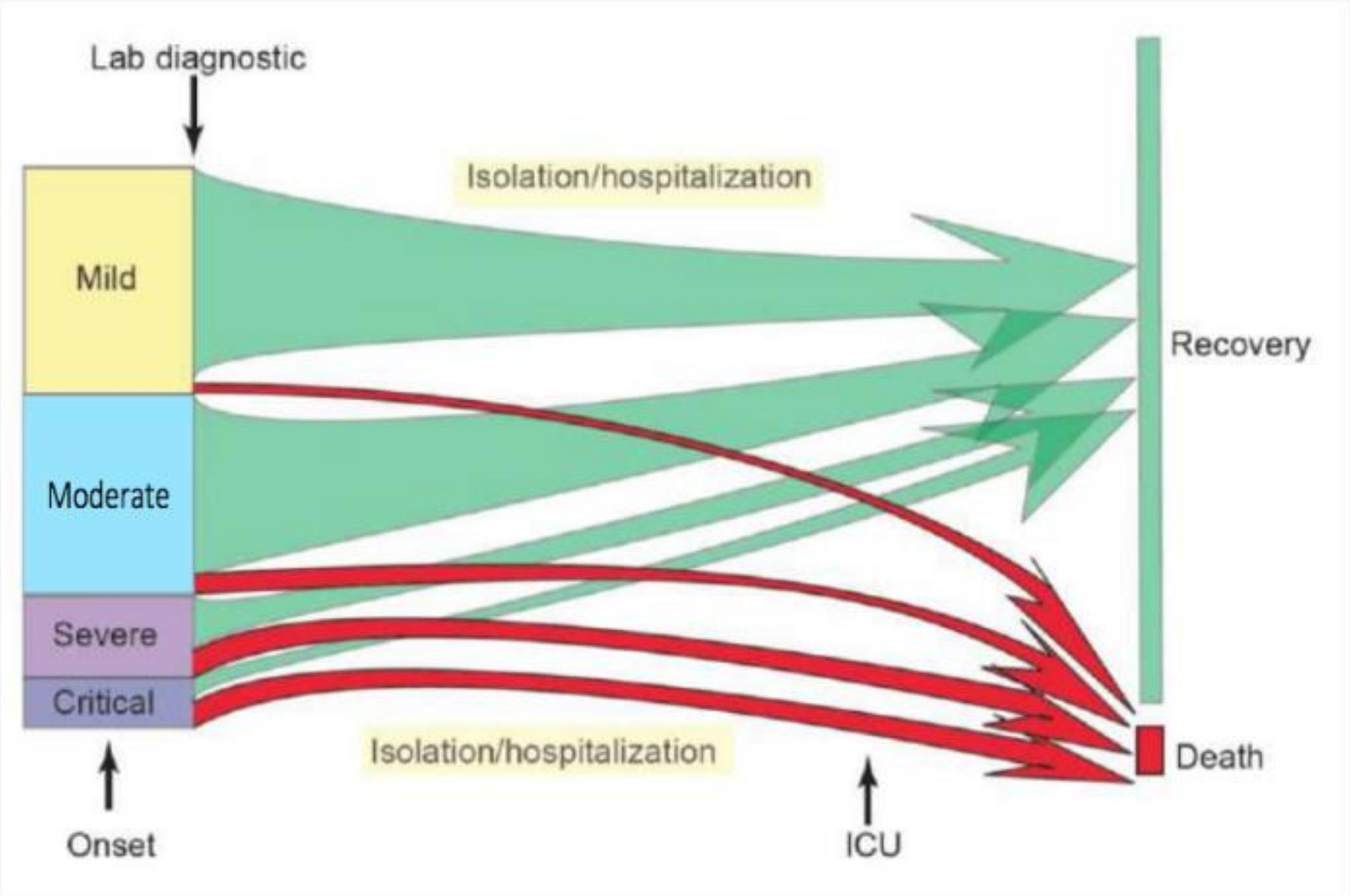
8月1日(土) 自宅 家族行事観戦

2日(日) 味覚障害出現

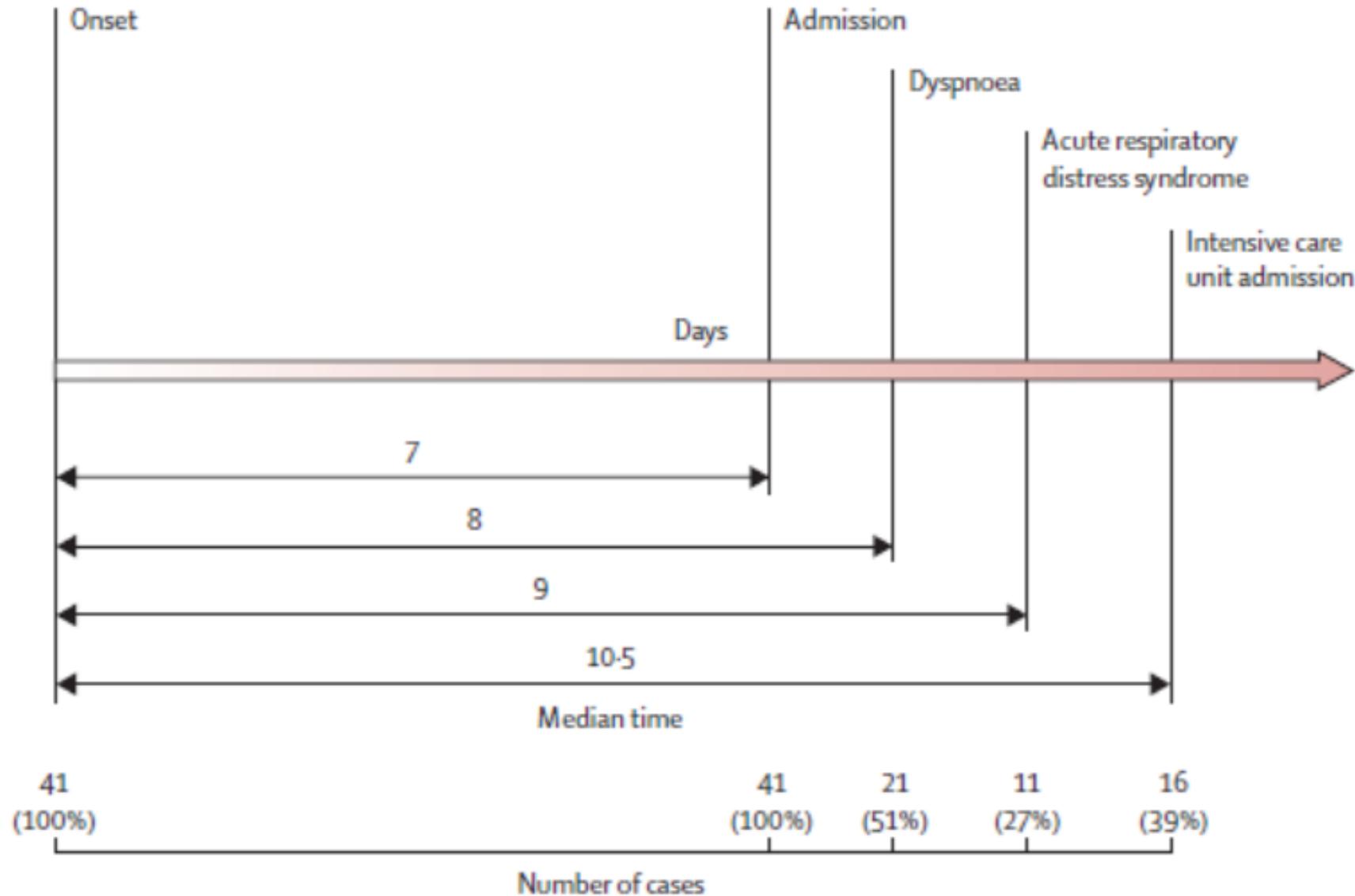
3日(月) 医療機関Aを再受診、検体採取

4日(火) 自宅 咳嗽、呼吸困難出現 検査の結果、陽性判明

5日(水) 県内の医療機関に入院調整中



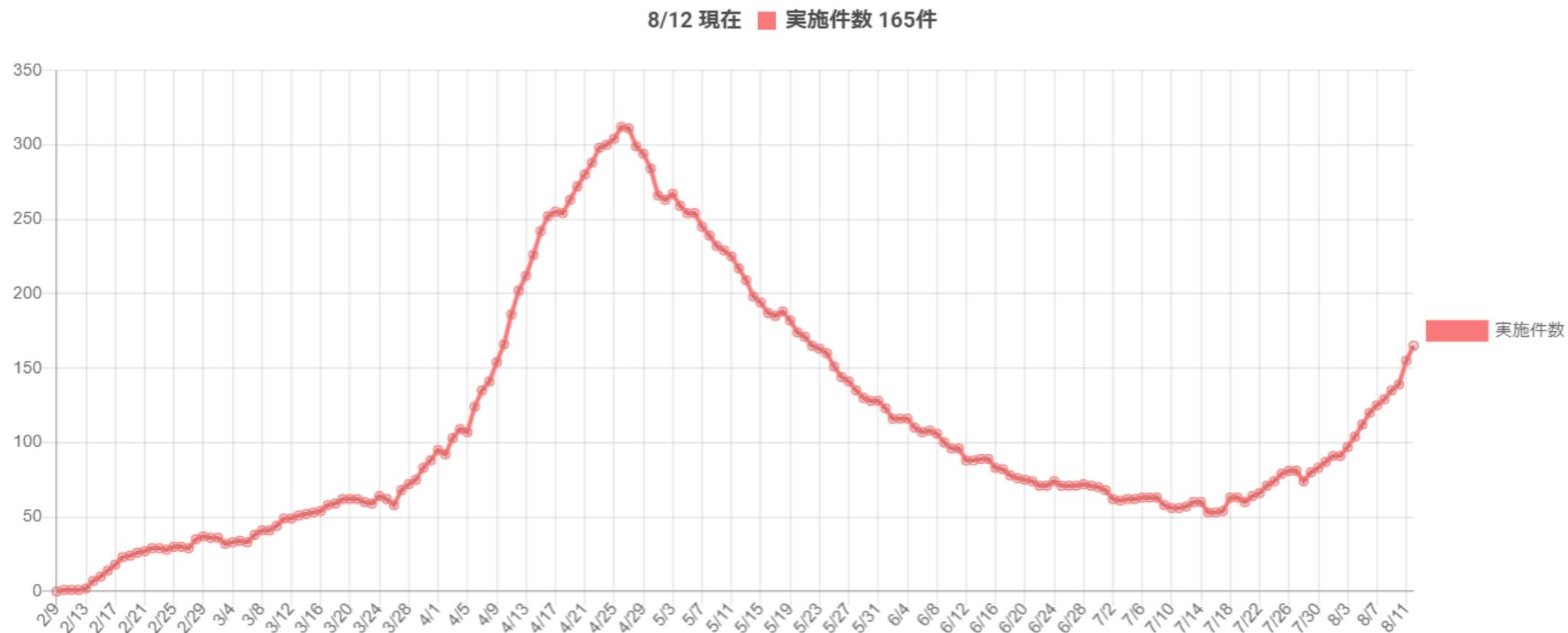
# 重症化するまでの経過



## 国内のCOVID-19重症者における人工呼吸器装着数(ECMO含む)の推移

このグラフはCRISISに申告された人工呼吸が必要な重症患者さんの推移を地方別、都道府県別に示すもので、上図とは違いECMOを装着した方々も加えた数になっております（ECMO患者はほぼ人工呼吸器も装着しているためです）。現在精度を上げるべく努力しております。全体の流れは把握していると自負しておりますが、かならずしも正確な数が示されている訳ではないことをご理解ください。COVID-19では長期の人工呼吸となる患者さんが多い傾向があります。2020/5/27記載

地方区分 都道府県  
全国



2020/08/12 更新

今、お伝え  
したいこと



1. 徹底的な3密をなくす取  
り組みを



2. 具合の悪い人が安心して  
休めるように



3. PCR等の検査については、  
よく考えながら



4. この状態は2年ぐらい続  
いたならと想定を



5. 今、社会はどうコロナと  
向かい合うといいのか？

無症状者に  
検査が広く  
行われるよ  
うになった  
場合

新たに問題にな  
りそうなこと

1. PCR等検査は、拒否できるのか？

2. PCR検査の結果は誰のものなの  
か？（基本的には個人に属する。同意  
無しで事業者はもらえない）

3. 「安心感」は本当に得られるの  
か？

4. 陰性だからといって感染対策を  
しなくなるリスクはないのか？

今、お伝え  
したいこと



1. 徹底的な3密をなくす  
取り組みを



2. 具合の悪い人が安心して  
休めるように



3. PCR等の検査については、  
よく考えながら

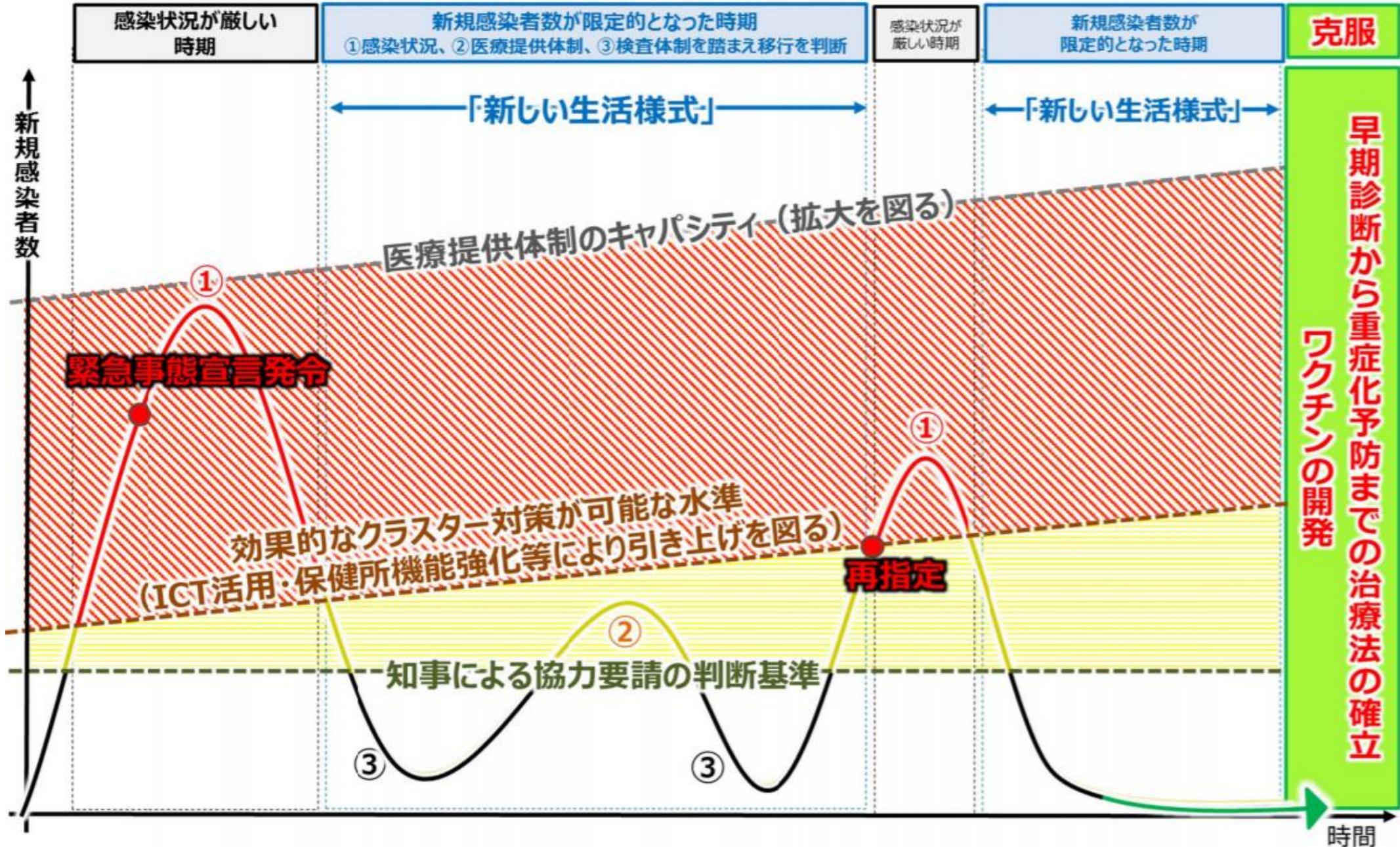


4. この状態は2年ぐらい  
続いたならと想定を



5. 今、社会はどうコロナと  
向かい合うといいのか？

# 地域別の新型コロナウイルス感染症対策（イメージ）



# おわりに

- 来年3月ぐらいまで状況をみないと今後どうなるかはわからない(できるだけ慎重に日々を過ごす必要がある)
- 海外で起きている(た)ことはかなり深刻な状況
- 差別偏見、分断、怒り、不満などにどう我々は立ち向かうのか
- コロナ時代を乗り越えた後には、我々の連帯、そして助け合いを尊ぶ度合いがさらに高まるように  
(我々、人間社会は試されているのか?)

# 企業のための新型コロナウイルス対策マニュアル

和田 耕治著

2020年5月29日 発売

企業・産業

健康

マネジメント・人材管理

ツイート

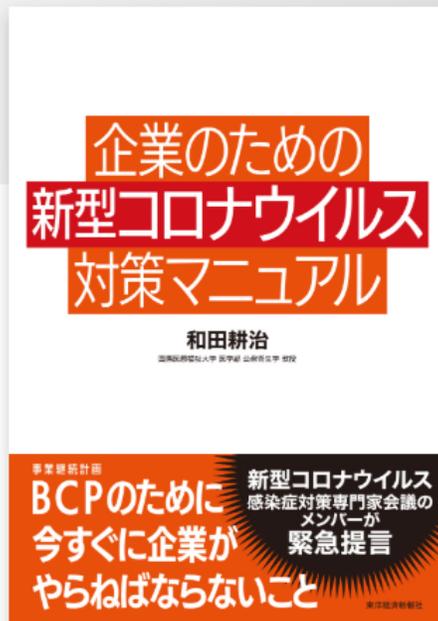
シェア

ISBN : 9784492557969 / サイズ : A 5 / 並 / 156

産業医、WHOとILOのコンサルタント、厚生労働省新型インフルエンザ専門家会議委員を経験した、感染症・健康危機管理の専門家である著者が今、猛威を振るっている新型コロナウイルスへの対策を提言する。

個人がとるべき対策はもちろん、企業として組織としてとらなければならない対策をわかりやすく解説。

すでにBCP対策を進めている大企業だけでなく、どこから手をつけていいかわからない中小・零細企業にとっても役立つよう、実際の企業の対策事例も紹介。



定価 1,980円 (税込)